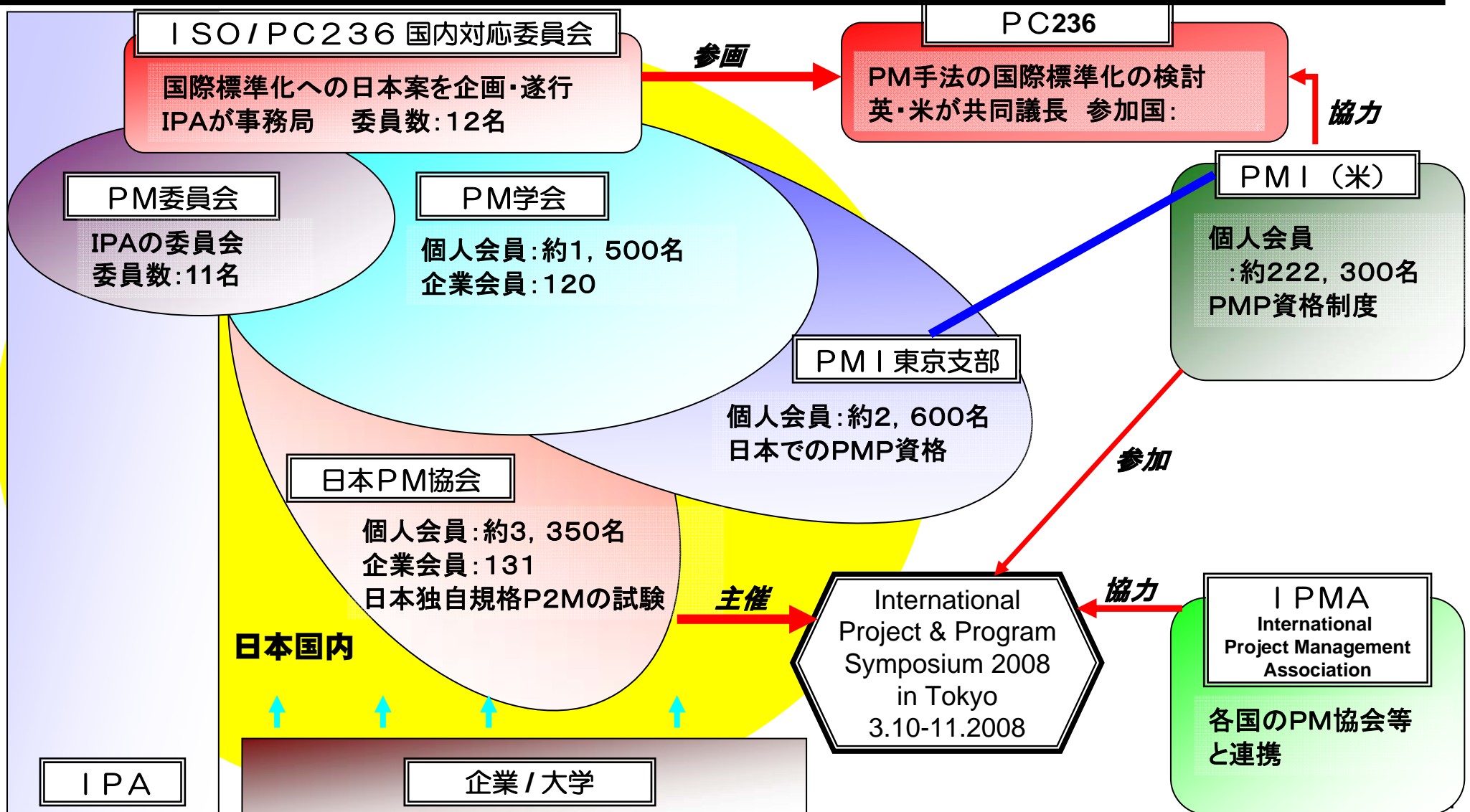


プロフェッショナル・コミュニティの活動事例:PM (Project Management)

- PMの分野では、ITだけでなく、建設など業種に依らないプロフェッショナル・コミュニティを形成。
- 国際的資格制度や国際会議など国際的な活動が盛んで、国際標準に向けた取組も進捗。



プロフェッショナルコミュニティ／プロジェクトマネジメント委員会

プロフェッショナルコミュニティ

○職種別 プロフェッショナルコミュニティ活動

- ① ITアーキテクト プロフェッショナルコミュニティ
- ② アプリケーションスペシャリスト プロフェッショナルコミュニティ
- ③ プロジェクトマネジメント プロフェッショナルコミュニティ
- ④ コンサルタント プロフェッショナルコミュニティ
- ⑤ ITスペシャリスト プロフェッショナルコミュニティ
- ⑥ ITサービスマネジメント プロフェッショナルコミュニティ
- ⑦ エデュケーション プロフェッショナルコミュニティ

プロジェクトマネジメント プロフェッショナルコミュニティ

○ITスキル標準 プロフェッショナルコミュニティでは、業界にて最も要望が高い、プロジェクトマネジメントのハイレベルな人材育成を目的として「プロジェクトマネジメント委員会」を設置。

○プロジェクトマネジメント委員については

既にプロジェクトマネジメントの分野において活躍されている団体がありますが、その中より、

- ・日本プロジェクトマネジメント協会(PMAJ:旧JPMF)
- ・PMI東京支部(PMIT)
- ・プロジェクトマネジメント学会

に、ハイレベルな人材を保有されている企業をご紹介頂き、企業の代表を委員として平成16年5月にプロジェクトマネジメント委員会が発足。

なお、平成19年6月現在における本委員会の委員(◎は主査、○は副主査)は次の通り。

- 井沢 澄雄 氏(日本電気株式会社)
- 乾 諭史 氏(日本アイ・ビー・エム研修サービス株式会社)
- 岡田 寿 氏(日本ユニカシステムズ株式会社)
- 向後 忠明 氏(株式会社こうろう社)
- 澤田 友宏 氏(株式会社日立製作所)
- 佐藤 公成 氏(NTTコミュニケーションズ)
- 鈴木 徳之 氏(日本アイ・ビー・エム株式会社)
- ◎橋爪 宗信 氏(株式会社NTTデータ)
- 濱 久人 氏(松下電器産業株式会社)
- 増澤 好文 氏(キヤノンシステムソリューションズ株式会社)
- 八久保 修 氏(テクノエイト株式会社)

プロフェッショナルコミュニティ/プロジェクトマネジメント委員会

井沢 遼雄

Sumio IZAWA



日本電気(株)
ソフトウェアエンジニアリング本部
マネージャー

// 主な活動内容 //

日本電気株式会社入社後、主に官庁系、公共系、一般産業系の情報システム開発プロジェクトに参画し、SE、プロジェクトマネージャーを担当。
その後、プロジェクトマネジメントに関するコンサルタント、研修講師、および幅広いソフトウェア事業推進活動を経て、現在、全社ソフトウェアエンジニアリング推進活動(ソフトウェア開発人材育成を含む)に従事。
「ソフトウェア開発のプロジェクトマネジメント入門」(1999/4、共訳、日刊工業新聞社)
「幅広いソフトウェア開発のためのE T S S標準ガイドブック」(2006/7、共著、日経B P社)
経済産業省「幅広いソフトウェア開発力強化推進委員会委員」(プロジェクトマネジメント技術部会 所屬)
情報処理学会 正会員、プロジェクトマネジメント学会 正会員
北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究所 幅広いシステム大学院コース 博士後期課程 講師
技術士(情報工學部門)、PMP、PMS、情報処理技術者(プロジェクトマネージャー)、システムアナリスト、システム監査技術者、アプリケーションエンジニア、上級システムアドミニストレータ等)、
Foundation Certification in IT-Service Management

乾 諭史

Satoshi INUI



日本アイ・ビー・エム人財ソリューション(株)
ラーニングアドバイザー

// 主な活動内容 //

日本IBMへ入社後、主に、金融業・製造業・流通業のお客様向けのアプリケーション開発SE、プロジェクトマネージャー、SEマネージャーを担当。
その後、SE本部においてSEリソースに関する施策の立案・企画を担当後、日本IBMのSE関連会社に出向。
日本IBMへの復帰後は、プロジェクトマネジメント・プロフェッション・リーダーとして、日本IBMにおけるプロジェクトマネージャー育成に関する諸施策の立案・企画・推進を担当。
2000年10月から、日本IBM研修サービス株式会社(現、日本アイ・ビー・エム人財ソリューション株式会社)において、プロジェクトマネジメントの必要性・重要性などの啓蒙活動や、PM育成のコンサルタントおよび講師などを担当。
PMP、プロジェクトマネジメント学会 正会員、PMIおよびPMI東京支部会員、日本プロジェクトマネジメント協会会員

岡田 寿

Hisashi OKADA



日本ユニカシステムズ(株)
技術顧問

// 主な活動内容 //

1967年、日本ユニパック株式会社へ入社以来、商社、製造、証券、都市銀行等、多数のプロジェクトにてSE及びプロジェクトマネージャーに従事。
1992年以降、情報戦略コンサルティングの方法論開発、及び製造、流通、物流、証券、電力、地域開発等の情報戦略コンサルタントに従事。
2002年、日本ユニカシステムズ株式会社を定年退職し、現在は、日本ユニカシステムズ株式会社で、該社経営に直接関わるビジネスの仕掛・仕組造りの技術顧問に従事。
学会ビジネスモデル学会員、経営情報学会員等。

向後 忠明

Tadaaki KOUGO



(株)こうろう社
顧問

// 主な活動内容 //

1968年：日揮株式会社入社
1988年：NTTインターナショナル(株)移籍
JICA調査団長/トルコ中央銀行決済システム構築PJ、タイ中央銀行決済&小切手システム構築PJにプロジェクトマネージャーとして参加
1993年：NTTインターナショナル香港支店
(NTT香港事務所兼務) 代表
1995年：PJ部次長兼品質保証部長(ISO認証取得)
1997年：MGTI (NTT投資案件で設立されたSPC) 取締役兼建設・戦略企画部長
1999年：スリランカテレコム(株)
民営化PJでのCAO(Chief Administrative Officer)
2002年：NTTコミュニケーションズ(株)
ソリューション事業部企画部、及びITビジネス推進部PMアドバイザー (PMO設立及びPM育成・資格認定制度企画)、及び財務部PMアドバイザー(次期経理システム更改・構築PJ)
2005年：NTTリース(株)
新ビジネス開発PT立ち上げ、運営
日本P M協会(PMAJ) 理事、国際P 2 M会員

澤田 友宏

Tomohiro SAWADA



(株)日立製作所 情報・通信グループ
プロジェクトマネジメント統括推進本部
PM/SE推進部
主管

// 主な活動内容 //

1977年、日立製作所に入社以来、SEとして、銀行/生保/損保/証券取引所といった金融機関の多数のプロジェクトに参画。
現在は、金融分野のPMOとして活動。
専門分野は、高性能/高信頼性システム構築、プロジェクトマネジメント学会 正会員

橋爪 宗信

Munenobu HASHIZUME




(株)NTTデータ
SIコンピテンシー本部
企画部長

// 主な活動内容 //

- 1988年：日本電信電話株式会社(NTT)入社。同年株式会社NTTデータに分社。主に法人向けITシステム
の設計・開発に従事する。専門は方式設計技術。
- 1996年：R&D部門へ異動し、分散開発環境を研究。その後、全社的な品質保証・審査(リスクマネジメント) / 技術支援組織の企画・組織化に携わる。当該組織でPM資格制度を提案し、全社的にPMP資格取得を推進する部門(PM推進室)を発足。
- 2002年：ビジネスインキュベーション部門の創設に関与し、異動。全社における新規ビジネス創出、社内ベンチャー制度の運営、海外VCファンドへの投資を担当。
- 2003年：SIコンピテンシー本部PMOへ異動し、全社PMO組織化を事務局として推進。個別ミッションとしては、PM社内資格認定制度運営(PM育成)とPMO訓練(特に品質管理)を担当。
- 2006年：SIコンピテンシー本部企画部長、全社SI競争力強化施策事務局局長、産業構造協議会人材育成WG。
- プロジェクトマネジメント学会 理事(研究会担当)
- PMP (PMI・PMIT所属)

プロフェッショナルコミュニティ/プロジェクトマネジメント委員会

濱 久人
Hisato HAMA



松下電器産業(株)
人材開発カンパニー
コーポレート技術研修センター
首都圏チーム シニアHRDコンサルタント

/// 主な活動内容 ///

- 1979年4月、建設系の福山コンサルタント株式会社に入社。都市計画、交通計画、道路情報システムなど、数多くのプロジェクトに参画。
- 1989年10月、松下電器産業株式会社に入社。システム開発部門のPMとして、テーマパークなどのAVシステムや、官公庁の通信システム、ITS、都市情報化などのプロジェクトを担当。その後、営業企画部門などを経て、現在は、左記の如きにて、経営、プロジェクトマネジメント、ITスキル標準関連の研究を担当。
- ITコーディネータ、プロジェクトマネジメントなど、各種研修の講師も担当。
- 保有資格
 - 技術士(建設)、ITCインストラクタ、ITコーディネータ、PMP、PMS、ISMS審査員、公認システム監査人
- 所属団体
 - PMI、PMIT、PM学会、日本情報処理学会、土木工学会、ITCA、システムアナリスト協会

鈴木 徳之
Noriyuki SUZUKI



日本アイ・ビー・エム(株)
GBS事業
SWE、ADコンサルティング
マネージング・コンサルタント

/// 主な活動内容 ///

1990年：日本IBMに入社。H/WエンジニアとしてHDD開発・製造に従事。

1994年：SEに職種を変更し、主に、公共、通信のお客様向けのアプリケーション開発プロジェクトに参画。開発・保守やプロジェクトマネジメントを実施。

2000年：品質保証部門(QA)にて、大規模システム構築案件の品質保証活動を経験した後、開発・運用を含むフルスコープのアウトソーシングプロジェクトの品質保証活動に従事。また、社内のCMMI推進プログラムの参加や社内ガイドの発行を通して、組織としてのプロジェクトマネジメントの成熟度向上とプロジェクトマネージャーへの教育やガイドを実施。

2007年：提携、アプリケーション開発プロセスに関するコンサルタントとして、IT部門の組織プロセス改善やプロジェクトマネジメントが強化のコンサルティングを主に担当。

PMP、プロジェクトマネジメント学会 正会員

佐藤 公成
Kousei SATOU



NTTコミュニケーションズ株式会社
所属：法人事業本部
システムエンジニアリング部
フロントエンジニアリング部門
技術戦略グループ 担当部長

/// 主な活動内容 ///

1984年：日本電信電話公社入社 技術局D-51/Vカット交換機の試験担当

1985年：社内オンライン情報システムの通信部分の設計、開発、試験やプロジェクト管理に従事。主として交換機と接続した情報システム担当

1993年：Vカット通信事業本部に従事。フレームリレーの販売企画等に従事。

1995年：顧客向けオンライン情報システムの提案、設計、構築、試験に従事。主としてプロジェクトマネージングを実施。

2001年：ICカード系情報システムの各種提案、開発、導入業務のマネージングを実施。

2006年：公共系、金融系の顧客向け大規模ネットワークシステムの複数の構築部隊の一部の部長として、各種管理、調整業務を実施。

増澤 好文
Yoshitumi MASUZAWA



キャノンシステム
ソリューションズ株式会社
開発統括本部 人材育成部
部長


/// 主な活動内容 ///

1989年：株式会社インテックに入社
電力関連、ロジスティクス、経理、証券など、国内・国外でSEならびにPMとして主にメインフレームを中心とした開発および保守プロジェクトに参画しました。

現在は、全社プロセス改善推進担当としてCMMI (Capability Maturity Model Integration; 能力成熟度モデル統合)をベースにソフトウェア開発プロセスの改善活動に従事しています。
国内・国外でプロセス改善に関するセミナー、研究発表を行っています。

プロジェクトマネジメント学会 正会員、PMI/PMI東京 正会員
PMP、情報処理技術者プロジェクトマネージャ

八久保 修
Osamu YAKUBO



株式会社テクノエイト
代表取締役社長

/// 主な活動内容 ///

1967年：日本レミントンユニパック株式会社に入社
流通、医療、総合商社、中央官庁などの分野を中心に、プログラマ、SE及びプロジェクトマネージャーとしてITシステムの設計・開発に従事する。

1994年：卸株式会社テクノエイトを設立し、ITシステムの設計・開発・保守業務を生業とする。
経営のかたわら、プロジェクトマネージャー受難時代の背景を探っている。

技術士(情報処理部門)

日本独自のコミュニティ

| 分野 | 名称 | 略称 | 設立 | 会員数 | 目的/概要 | 活動概要 |
|--------------|-----------------------------|---------|--------------------------|------------------------------------|--|--|
| 情報技術全般 | (社)技術士会 情報工学部会 | | 1951年 (法人認可) | 1,476名 | 情報工学に関する幅広い分野の技術を持ったプロフェッショナル技術者の集団として、産官学の連携や企業のIT化コンサルタント活動に積極的に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> IT分野における技術士の知名度向上 情報工学部門技術士が活躍できる場の拡大 会員のニーズに応じた参加型例会の実施 ネットワークを積極的に活用したフレキシブルな活動 |
| 情報技術全般 | (社)情報処理学会 | IPSI | 1960年 | 21,929名 | コンピュータとコミュニケーションを中心とした情報処理に関する学術、技術の進歩発展と普及啓蒙を図り、会員相互間および関連学協会との連絡研修の場となり、もって学術、文化ならびに産業の発展に寄与する。 | <ul style="list-style-type: none"> 出版 標準化活動 教育 表彰 国際交流 調査研究 |
| 電子・情報・通信 | (社)電子情報通信学会 | IEICE | 1987年 | 33,857名 うち情報・システムサイエンス: 11,399名 | 電子工学および情報通信に関する学問、技術の調査、研究および知識の交換を行い、もって学問、技術および関連事業の振興に寄与する。 | <ul style="list-style-type: none"> 出版 規格・標準 教育 表彰 国際交流 調査研究 |
| 経営情報 | 経営情報学会 | JASMIN | 1992年 | 1,450名 | 経営情報にかかわる諸問題の研究および応用を促進し、会員相互および関連する学協会との情報交換をはかるとともに、経営情報学の確立、産業の進歩発展に寄与すること | <ul style="list-style-type: none"> 研究会、研究発表大会、シンポジウム、講演会、討論会の開催 学術的調査、研究 学会機関誌、研究報告書、その他の刊行物の発行 内外関連学会との連絡、交流、共同研究 大学院生等新進気鋭の研究者への研究機会提供 |
| プロジェクトマネジメント | 日本プロジェクトマネジメント協会 (NPO法人) | PMAJ | 2005年 (前身のJPMFは1998年) | 3,000名 | プロジェクトマネジメント資格の認定、講習の実施、プロジェクトマネジメント(PM)に関する知識の普及に関する事業等を行うことにより、PM実践家の育成と企業・団体および自治体等の経営活動におけるPMの普及を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 我が国のプログラム&プロジェクトマネジメント標準ガイドブック(P2M)の発行・維持・改善主体として、P2Mの国内外への普及事業 P2Mに基づく資格試験の実施機関であり資格者の認定・登録等の業務 PMに関する研究開発および国内外PM関連団体との交流 PMIに関する普及・研修・セミナー事業 |
| 情報戦略とシステム化計画 | システムアナリスト協会 | JSAG | 2000年 | 525名 | <ul style="list-style-type: none"> 情報化戦略・情報化計画等についての情報交換や相互研鑽によって実務能力の向上と人脈形成を図る。 会員相互の議論や実践的な内容を通じ、システムアナリストの人材像、役割を明確化する。 社会的な貢献を目指して情報発信、提案等の活動を行う。 情報処理に関する他の有資格者や、その他の専門家の諸団体とも積極的な交流を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> メーリングリストおよびホームページ運用 研修会の開催 出版物、その他資料の刊行 支部活動:各拠点における、相互研鑽・親睦のための定期交流会や研修会 |
| ユーザ情報システム部門 | 上級システムアドミニストレータ連絡会 | JSDG | 1997年 | 385名 | <ul style="list-style-type: none"> 上級システムアドミニストレータを社会一般に認知せしめるとともに、上級システムアドミニストレータの情報処理能力、ならびに実務能力の維持向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> メーリングリスト運用 ホームページ開設 プロジェクト活動(全国大会および研修会の開催、出版物および資料の刊行、等) |
| ソフトウェア技術 | ソフトウェア技術者協会 | SEA | 1985年 | 約400名 | <ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア技術者あるいは研究者が、社会組織の壁を越えて、各自の経験や技術を自由に交流しあうための「場」 | <ul style="list-style-type: none"> 機関誌の発行 支部および研究分科会の運営 セミナー/ワークショップ/シンポジウムの開催 内外の関係諸団体との交流 |
| オープンソース | 日本Linux協会 | JLA | 1999年 | 166名 | Linux文化の普及、啓蒙活動を推進し、Linux環境の公益のための活動を行い、中立性の維持と開かれた運営と活動により、Linux環境の健全な発展に寄与する | <ul style="list-style-type: none"> Linux Conference、各種セミナー開催 地方・コミュニティ及び他団体との連携 Linux関連情報の提供 |
| 組み込みソフトウェア | NPO法人組み込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会 | SESSAME | 2000年 | 200名以上 | 世界の競争の中で、組み込みソフトウェアを日本の将来のコアコンピタンスにすることを目標 | <ul style="list-style-type: none"> 研究会、セミナー、ワークショップの開催 組み込みソフトに関する情報提供(知識体系、用語集、文献集、テキスト) 組み込みe-Learningコンテンツの開発・提供 |

海外コミュニティおよびその日本支部

| 分野 | 名称 | 略称 | 設立 | 会員数 | 対応資格 | 資格種別 | 目的/概要 | 活動概要 | URL |
|--------------|---|--------------------------|-------|-------------------|---|-----------|--|---|---|
| 技術者全般 | National Society of Professional Engineers (米国プロフェッショナルエンジニア協会) | NSPE | 1934年 | 45,000名 | PE (Professional Engineer) (日本の技術士に相当) | 国家資格(州単位) | ・州政府・連邦政府と協力したPE資格者の組織である。教育、資格保護、リーダー研修、業際ネットワーク、奉仕活動などを通じ、倫理的・専門的能力の向上を図る。 | ・技術者に関する各種の表彰 ・技術者に関する立法支援、制度設計支援、裁判支援 ・各種イベント、研修 ・各種の会員サービス | http://www.nspe.org |
| | 日本プロフェッショナルエンジニア協会 | JSPE | 2000年 | 270名 | | | ・NSPEの日本支部。 | ・PE受験対策セミナー、PE試験実施サポート、交流会 | http://www.jspe.org |
| プロジェクトマネジメント | Project Management Institute (プロジェクトマネジメント協会) | PMI | 1969年 | 260,000名 160カ国 | PMP (Project Management Professional) | 国際的資格 | ・プロジェクトマネジメント標準PMBOKの開発・維持 ・PMP試験の実施 | ・世界標準であるプロジェクトマネジメントの啓蒙・普及。 ・プロジェクトマネジメント適用に関する調査・研究 ・各種研究活動、セミナー等による普及活動 ・翻訳出版等の情報提供による普及活動 | http://www.pmi.org |
| | プロジェクトマネジメント協会 東京支部 | PMIT | 1998年 | 2660名 | | | ・PMI日本支部 | <同上> | http://www.pmi-tokyo.org |
| ITガバナンス | ISACA ※略称が正式名称か？ (情報システムコントロール協会) | ISACA | 1967年 | 65,000名 140カ国 | CISA (Certified Information Systems Auditor)公認情報システム監査人 | 国際的資格 | ・情報システムのコントロール、監査、セキュリティ、最近ではITガバナンスを向上させるための多様な専門家の集まり。 ・CoBIT (情報技術 (IT) 管理についてのベストプラクティス集)を策定した。 | ・CoBITの開発・維持 ・教育 ・出版、セミナー ・国際会議 | http://www.isaca.org |
| | 情報システムコントロール協会 東京支部 (大阪支部、名古屋支部もある) | ISACA 東京 | 1983年 | 1500名 | CISM (Certified Information Security Manager)公認情報セキュリティマネージャー CGEIT (Certified in the Governance of Expertise IT) | | ISACAの日本支部。 | ・月例会 ・支部活動 ・調査研究 ・基準類の翻訳 ・試験の普及、受験者サポート | http://www.isaca.gr.jp |
| 情報セキュリティ | The International Information Systems Security Certification Consortium, Inc. | (ISC) ² | 1989年 | 53,000名 120カ国 | CISSP (Certified Information Systems Security Professional) SSCP (Systems Security Certified Practitioner) CAP (Certification and Accreditation Professional) | 国際的資格 | ・情報セキュリティ技術者の資格認定と教育が中心である。 ・ISC2CBKのメンテナンスが大きな役割。 | ・(ISC) ² CBKの開発・維持 ・セキュリティトレーニング実施 ・セキュリティコミュニティ運営 ・会議、表彰 | https://www.isc2.org |
| | (ISC) ² Japan | (ISC) ² Japan | 2004年 | 923名 | | | ・(ISC) ² の日本支部 | ・メンパコミュニティ向けSNSの提供 | https://www.isc2.org/japan/ |
| 情報セキュリティ | SysAdmin, Audit, Network, Security Institute | SANS | 1989年 | 165,000名 | GIAC (Global Information Assurance Certification) | 国際的資格 | ・政府や企業・団体間における研究、及びそれらに所属する人々のITセキュリティ教育を目的とする。 ・研究機関としての存在感も大きい。 | ・セキュリティトレーニング実施 ・各種研究レポート発行 ・Internet Storm Center運営(脆弱性情報など) | http://www.sans.org |
| | SANS Japan | SANS Japan | 2005年 | 不明 | | | ※NRIセキュアテクノロジーズがSANS JAPAN プロジェクト事務局を運営しておりコミュニティではない。 | | http://sans-japan.jp |

米国における企業がスポンサーとなっているコミュニティの例

■ Culminis

<目的／体制>

- ・ 2004年2月設立。マイクロソフトがスポンサー。
- ・ ソリューション・プロバイダとのネットワークを構築し、ITプロフェッショナルとの連携の強化を図ると共に、ユーザーグループに対してプレゼン資料その他の各種の情報提供を行う。
- ・ 10人以上のグループであれば、誰でも無料で参加できる。2008年2月8日時点で80カ国以上962の団体が参加し、226万人の会員が参加している。
- ・ 米国を中心に、欧州、中南米などに多くの参加団体が存在。

- ・ 日本では2006年8月にマイクロソフト日本法人がMicrosoft Community Ringを発表。技術者コミュニティ支援団体と共同で、技術者コミュニティの立ち上げや運営の支援等を行う。

<参加メリット>

- ・ 管理と運営：ユーザーグループ立ち上げガイド、無償のポータル、世界各国のグループとのネットワーク
- ・ トレーニングと教育：教材へのアクセス、ソリューションプロバイダへのフィードバック、プレゼン資料
- ・ 広報とマーケティング：無償のテンプレート、HPへの掲載
- ・ 地域貢献：地域プロジェクトの案内